

1. 学年・教科・単元名 3年 国語科 「本は友だち」

2. 実践者（所属） 高橋 妙子（上作延小学校）

3. 使用する機器・メディアなど

入 力		ソフト、コンテンツ	出 力	
<input type="checkbox"/>	教材提示装置	Web サイト ( )	<input type="checkbox"/>	50 インチ大型テレビ
	コンピュータ			電子黒板
	デジタルカメラ	PC ソフト ( )		プロジェクタ
	SD カード			プリンタ
	デジタルビデオカメラ	DVD ソフト、放送番組 ( )		
	DVD プレイヤー			
	その他 ( )			

4. ICT 活用のねらい（資料「教育の情報化に関する手引」文部科学省 2009 年）

教師が活用する場面		児童が活用する場面	
<input type="checkbox"/>	興味・関心を高めるため		情報を収集・選択するため
	課題を明確につかませるため		文章、表や図にまとめるため
	わかりやすく説明したり、児童の思考や理解を深めたりするため		わかりやすく発表したり表現したりするため
	知識の定着を図るため		知識の定着や技能の習熟を図るため

5. 学習活動の流れ

学習活動（10分）	ICT 活用の留意点等
1. 作った「本の帯」をクラス全員で見て、良いところを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材提示装置で撮影した「本の帯」を50インチ大型テレビで提示する。</li> <li>あらすじやキャッチフレーズなど、「本の帯」に書くことを全員で確認する。</li> <li>読みたくなるような表現や工夫を見つけ、本の帯を作る際の材料を探す。</li> </ul>

6. 実践のポイント

- ・小さな本の帯を50インチ大型テレビに映し出すことは、みんなで一つのものを確認したり、共有したりするのに有効。
- ・黒板と隣りあわせにして、本の帯を映し出ししながら、子どもの気づきを黒板に書いていくと、学習の流れが確認できる。